

令和2年度北薩地区フレッシュ研修（初任校研修）研究授業研修【特別活動】

（令和3年1月19日火曜日）

1 目的

研究授業や授業研究等を通して、指導方法等の改善を図るとともに理解を深め、指導力の向上に役立てる。

2 会場

出水市立下水流小学校
阿久根市立鶴川内中学校

3 出席者

小学校教諭 32人
中学校教諭 11人

4 研修の様子



研究授業（代表授業）

出水市立下水流小学校
山下 紗代 教諭（2年）



授業研究・研究協議



初任者代表挨拶

長島町立城川内小学校
鮫島 武人 教諭



研究授業（代表授業）

阿久根市立鶴川内中学校
本田 開 教諭（2年）



授業研究・研究協議



初任者代表挨拶

薩摩川内市立川内南中学校
青木 孝史朗 教諭

【初任者の感想】

- 今回の代表授業を通して、先生方から多くの質問や改善点を出してもらったことで、今後取り組むべきことが明確になった。
- 今回、発問の工夫、話し合い活動の仕方、効果的なICTの活用を自分の課題として授業に臨んだ。授業を終えて、来年度に困らないように今、何ができるかを考えて、できることを少しずつ増やしていきたい。
- 柱の立て方について、児童に一番話し合わせることは何かを考えなければならぬと感じた。また、計画委員会では、全体で考えることを決めておくという準備の大切さや活動計画についても、今後取り組んでいきたい。
- 学習課題を生徒に考えさせる活動は、授業を始めるに当たり、生徒がより深く考えるきっかけになることが分かった。
- 同じ北薩地区の初任者と会って、高め合うことができる研修会は、本当に充実し、楽しい繋がりができ、心の支えになった。
- 授業をする度に信頼が増していくような授業を目指すことを念頭に、生徒と向き合っていきたい。